

梶田龍三 教授 履歴・業績

梶田龍三 教授 履歴・業績

履 歴

1954年（昭和29年）2月 福岡県直方市生まれ

[学 歴]

1972年（昭和47年）3月 福岡県立直方高等学校卒業
 1972年（昭和47年）4月 福岡大学商学部商学科入学
 1976年（昭和51年）3月 福岡大学商学部商学科卒業
 1976年（昭和51年）4月 福岡大学大学院商学研究科商学専攻修士課程入学
 1978年（昭和53年）3月 福岡大学大学院商学研究科商学専攻修士課程修了
 1978年（昭和53年）4月 福岡大学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程入学
 1981年（昭和56年）3月 福岡大学大学院商学研究科商学専攻博士後期課程単位取得退学

[学 位]

1978年（昭和53年）3月 商学修士（福岡大学）
 2003年（平成15年）3月 経済学博士（武蔵大学：博士論文（乙第5号））

[職 歴]

1986年（昭和61年）4月 日本文理大学商経学部専任講師
 1992年（平成4年）4月 日本文理大学商経学部助教授
 2000年（平成12年）4月 大分大学経済学部助教授
 2002年（平成14年）4月 大分大学経済学部教授
 2013年（平成25年）4月 専修大学商学部教授（現在に至る）

[受 賞]

2013年（平成25年）10月 会計理論学会 学会賞（「IFRS時代における受託責任概念（目的）の普遍妥当性」『会計理論学会年報』第26号，2012年9月）

[学 会]

日本会計研究学会 評議員（元）
 中小企業会計学会 理事
 日本インベスター・リレーション研究学会 理事
 会計理論学会 監事：理事（元）
 国際会計研究学会
 グローバル会計学会
 知的資産経営学会

日本会計史学会

日本簿記学会

[学 務]

1992年（平成4年）4月 日本文理大学学生部学生課長（～1994年3月）

2008年（平成20年）8月 大分大学学生生活委員長（～2010年8月）

2009年（平成21年）4月 大分大学経営システム学科長（～2011年3月）

2018年（平成30年）11月 専修大会計教育100周年・会計学科50周年記念事業実行委員会委員長

2019年（平成31年）4月 専修商学論集編集委員会委員長（～2022年3月）

[試験委員]

2013年1月 税理士試験委員（～2015年12月）

業 績

[著書等]

- 2000年7月 『制度会計の論点』 税務経理協会（共著）
 2001年9月 『自己株式会計論』 白桃書房〔博士論文〕
 2003年11月 『国際会計基準制度化論』（共著）白桃書房
 2006年3月 『会計利益計算の構造と論理』（共著）創成社
 2007年6月 『現代会計学と会計ビッグバン』（油井敏範と共編著）森山書店
 2008年11月 『国際会計基準制度化論（第2版）』（共著）白桃書房
 2015年3月 『グローバル・ガバナンス時代における IR 情報と会計情報の総合的な研究—最終報告書—』（編著）日本インベスター・リレーションズ学会
 2016年8月 [2016] 『IFRS の概念フレームワークについて—最終報告書—』（共著）国際会計研究学会
 2018年8月 『会計における責任概念の歴史—受託責任ないし会計責任—』（共著）中央経済社
 2019年5月 『IASB の概念フレームワーク』（共著）税務経理協会

[論文等]

- 1977年3月 「資本維持と会計責任に関する一考察—実体資本維持説を中心に—」 修士論文（写本）
 1980年11月 「アメリカにおける静的会計理論に関する一考察」『福岡大学大学院論集』第12巻第2号
 1983年8月 「アメリカにおける自己株式会計の史的考察—1930年代までを中心に—」『福岡大学大学院論集』第15巻第1号
 1985年7月 「伝統的自己株式会計論」『福岡大学大学院中村ゼミ会論集』第6号
 1986年9月 「アメリカにおける伝統的自己株式会計論」『日本文理大学紀要』第14巻第2号
 1987年2月 「資産評価論」『日本文理大学紀要』第15巻第1号〔ショートノート〕
 1987年3月 「自己株式会計—会計における Sacred Cow—」『日本文理大学商経学会誌』第5巻1号・2号合併号
 1989年9月 「自己株式取得権—『自己株式取得権是認型』の判例を中心に—」『日本文理大学商経学会誌』第8巻1号
 1990年3月 「自己株式取得権—Michigan 州を中心に（1）—」『日本文理大学商経学会誌』第8巻2号
 1990年9月 「自己株式取得権—Michigan 州を中心に（2）—」『日本文理大学紀要』第18巻第2号
 1990年9月 「自己株式（1）」『日本文理大学商経学会誌』第9巻1号
 1990年9月 「自己株式（2）」『日本文理大学紀要』第19巻第1号
 1991年3月 「自己株式（3）」『日本文理大学商経学会誌』第9巻2号
 1992年2月 「自己株式（4）」『日本文理大学紀要』第20巻第1号
 1992年3月 「日本における自己株式会計」『日本文理大学商経学会誌』第10巻2号
 1992年6月 「米国における自己株式会計の発展とその問題点—我が国の現代的課題に関連させて—」『経営行動』第7巻第2号
 1992年10月 「米国における自己株式法の諸相」『日本文理大学紀要』第20巻第2号
 1994年9月 「自己株式の諸相—米国における会計制度の変容—」『日本文理大学商経学会誌』第13巻1号
 1994年9月 「自己株式とグリーンメーラー—米国における会計制度の変容—」『日本文理大学商経学会

- 誌』第13巻第1号
- 1995年3月 「FASB 専門広報 No.85-e (自己株式購入の会計) に関するコメント・レター」『日本文理大学商経学会誌』第13巻2号
- 1995年10月 「会計基準設定と実務有効性—TB85-6『グリーンメールの会計』を素材として」『日本文理大学商経学会誌』第14巻1号
- 1996年3月 「現代会計と会計基準設定—会計におけるパワーの問題—」『日本文理大学商経学会誌』第14巻2号
- 1996年6月 「現代自己株式会計論—FASB『グリーンメール会計』を素材として—」『会計』第149第6号
- 1996年6月 「自己株式を対象としたプット・オプションの会計問題」『経理情報』第788号
- 1996年10月 「負債と持分の区分の会計問題—FASB『討議資料』(1990年)を中心に—」『日本文理大学商経学会誌』第15巻1号
- 1997年2月 「自己株式会計における負債説の展開—強制的償還優先株式を素材として—」『企業会計』第49巻第2号
- 1997年3月 「会計における連続と非連続(1)—会計におけるフレームワークを素材として—」『日本文理大学商経学会誌』第15巻2号
- 1997年3月 「デリバティブと自己株式会計」『会計』第151巻第5号
- 1997年9月 「日米における自己株式会計論の相剋」『産業経理』第56巻第4号
- 1997年10月 「やさしい財務教室—プット・オプション付自己株式—」『バンキング』第27巻第12号
- 1997年10月 「優先株式：財務と会計」『日本文理大学商経学会誌』第16巻1号
- 1998年3月 「ストック・オプションの会計とコーポレート・ガバナンス」『福岡大学商学論集』第42巻第4号
- 1998年3月 「今福愛志試験委員の学説紹介」『会計人コース』第33巻第3号
- 1998年5月 「研究室から—優先株式は負債か?—」『JICPA ジャーナル』第10巻第5号
- 1998年10月 「ストック・オプションの会計—労働債務と労働報酬の問題—」『日本文理大学商経学会誌』第17巻第1号
- 1999年2月 「米国におけるストック・オプション会計の現代的課題」『産業経理』第58巻第4号
- 1999年3月 「デリバティブと資本会計」『会計』第155巻第3号
- 1999年3月 「自己株式会計実務に関する一考察」『日本文理大学商経学会誌』第17巻第2号
- 1999年7月 「CEO 報酬制度とストック・オプション会計と新プロジェクト」『企業会計』第51巻第7号
- 1999年9月 「新連載・会計士スキルアップゼミ1—取得原価主義と資本維持—」『会計人コース』9月号
- 1999年10月 「新連載・会計士スキルアップゼミ2—資本取引と損益取引—」『会計人コース』10月号
- 1999年10月 「会計制度と FASB 概念フレームワーク」『日本文理大学商経学会誌』第18巻1号
- 1999年11月 「新連載・会計士スキルアップゼミ3—退職給付の会計基準—」『会計人コース』11月号
- 1999年12月 「新連載・会計士スキルアップゼミ4—金融商品の会計基準—」『会計人コース』12月号
- 2000年1月 「新連載・会計士スキルアップゼミ5—連結会計(前)—」『会計人コース』1月号
- 2000年2月 「新連載・会計士スキルアップゼミ6—連結会計(後)—」『会計人コース』2月号
- 2000年2月 「負債と資本区分の会計問題—ワラント, 転換権およびストック・オプションを素材として—」『日本文理大学商経学会誌』第18巻第2号
- 2000年4月 「会計制度の概念と FASB 概念フレームワーク」『会計』第157巻第4号

- 2000年7月 「その他の重要問題」井上良二編著『制度会計の論点』第6章Ⅲ 税務経理協会
- 2002年3月 「ストック・オプションの会計基準—G4+1の討議資料を中心として—」『武蔵大学論集』第49巻第3・4号
- 2002年5月 「金融商品の会計基準—FASB 公開草案（2000）を中心に—」『大分大学経済学論集』第54巻第1号
- 2003年2月 「負債と資本の区分の会計問題」『会計』第163巻第2号
- 2003年11月 「資本会計」佐藤信彦編著『国際会計基準制度化論』第1部第8章 白桃書房
- 2004年10月 「概念フレームワークと会計基準—FASB を中心に—」『産業経理』第64巻第3号
- 2005年1月 「会計理論における古典的・真実利益アプローチと意思決定・有用性アプローチの論理（1）」『大分大学経済学論集』第56巻第5号
- 2005年5月 「会計理論における古典的・真実利益アプローチと意思決定・有用性アプローチの論理（2）」『大分大学経済学論集』第57巻第1号
- 2005年7月 「会計理論における古典的・真実利益アプローチと意思決定・有用性アプローチの論理（3）」『大分大学経済学論集』第57巻第2号
- 2006年3月 「米国財務会計基準審議会」上野清貴編著『会計利益計算構の構造と論理』第Ⅲ部第7章 創成社
- 2006年3月 「わが国企業会計基準審議会」上野清貴編著『会計利益計算構の構造と論理』第Ⅲ部第11章 創成社
- 2006年9月 「会計理論における古典的・真実利益アプローチと意思決定・有用性アプローチの論理（4）」『大分大学経済学論集』第58巻第3号
- 2007年2月 「会計における概念フレームワークとコンバージェンス」『大分大学経済学論集』第58巻第5号
- 2007年6月 「現代会計のフレームワーク」梶田龍三・油井敏範編著『現代会計学と会計ビッグバン』序章 森山書店
- 2007年6月 「財務会計のフレームワーク」梶田龍三・油井敏範編著『現代会計学と会計ビッグバン』第1部序章の補論Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ 森山書店
- 2007年6月 「資本の会計」梶田龍三・油井敏範編著『現代会計学と会計ビッグバン』第1部第5章 森山書店
- 2007年6月 「ストック・オプションの会計」梶田龍三・油井敏範編著『現代会計学と会計ビッグバン』第2部第12章 森山書店
- 2007年7月 「ストック・オプション会計の代替案の可能性」『産業経理』第67巻第2号
- 2008年5月 「会計理論における古典的・真実利益アプローチと意思決定・有用性アプローチの論理（5）」『大分大学経済学論集』第60巻第1号
- 2008年11月 「純資産の部の会計」佐藤信彦編著『国際会計基準制度化論（第2版）』第1部第8章 白桃書房
- 2009年1月 「米国における資本会計の新局面」『大分大学経済学論集』第60巻第4号・5号
- 2009年9月 「経済社会の変容と時価会計」『会計理論学会年報』第24号
- 2010年10月 「米国における資本会計の変容と受託責任目的」『産業経理』第70巻第3号
- 2012年9月 「IFRS 時代における受託責任概念（目的）の普遍妥当性」『会計理論学会年報』第26号

- 2013年3月 「会計グローバル化と原則主義的アプローチの胎動」『経理研究』第56号 中央大学経理研究所
- 2013年7月 「会計における二重の受託責任概念（目的）について」『大分大学経済学論叢』第65巻第2号
- 2014年7月 「IASB 新概念フレームワークにおける姿勢の変化—会計目的論を中心に—」『会計・監査ジャーナル』第26巻第7号
- 2015年3月 「グローバル・プライベート・ガバナンス時代における国際会計基準審議会と国際標準化機構の相互関係について」『経理研究』第58号 中央大学経理研究所
- 2015年3月 「グローバル・ガバナンス時代における会計情報の動向—国際標準化機構（ISO）に関連させて—」 梶田龍三編著（座長）『グローバル・ガバナンス時代における IR 情報と会計情報の総合的な研究—最終報告書—』 日本インベスター・リレーションズ学会
- 2015年3月 「日本版スチュワードシップ・コードの現状・課題とそれに対応した理論的モデル化の必要性」 梶田龍三編著（座長）『グローバル・ガバナンス時代における IR 情報と会計情報の総合的な研究—最終報告書—』 日本インベスター・リレーションズ学会
- 2015年4月 「賢明なる投資家とは」『ジャパニーズ・インベスター』第85号
- 2016年3月 「Staubus の会計理論に関する一考察」『会計学研究』第42号 専修大学会計研究所
- 2016年3月 「損益計算モデルと貸借対照表モデル—IASB/FASB [2010] 新概念フレームワークに関係させて—」『佐賀大学経済論集』第48巻第5号
- 2016年7月 「会計における資産負債観について—金融セクターの動向に関連させて—」『専修商学論集』第103号
- 2016年8月 「概念フレームワークにおける会計目的論の変容と金融セクターの影響力—会計の政治化に関連させて—」 国際会計研究学会・研究グループ・岩崎勇編著 [2016] 『IFRS の概念フレームワークについて—最終報告書—』 国際会計研究学会
- 2016年8月 「概念フレームワークにおける質的特性—制度的補完性理論と忠実な表現概念の関係—」 国際会計研究学会・研究グループ・岩崎勇編著 『IFRS の概念フレームワークについて—最終報告書—』 国際会計研究学会
- 2017年1月 「会計における概念フレームワークの変容と二つの資産負債観—グローバルな組織と金融化に関係づけて—」『ディスクロージャーニュース』第35号
- 2017年3月 「グローバル・ガバナンス時代における IASC/IASB」『会計学研究』第43号 専修大学会計学研究所
- 2017年7月 「会計における資本概念の対立—概念フレームワークと『予備的見解：持分』の資本概念—」『専修商学論集』第105号
- 2018年1月 「会計の政治化—ストック・オプションの会計基準を事例として—」『専修商学論集』第106号
- 2018年5月 「ストック・オプションの会計基準に係る弊害—バックデーティング問題—」『ディスクロージャー& IR』第5号
- 2018年7月 「ストック・オプションの会計基準に関する一考察—基準設定過程における FASB と連邦議会の攻防—」『専修商学論集』第107号
- 2018年8月 「英米における受託責任（会計責任）概念の歴史と諸相」 安藤英義編著 『会計における責任概念の歴史—受託責任ないし会計責任—』 第 I 部第 4 章 中央経済社

- 2018年 8月 「英米における受託責任（会計責任）概念の系譜」安藤英義編著『会計における責任概念の歴史—受託責任ないし会計責任—』第Ⅱ部第4章 中央経済社
- 2018年 8月 「受託責任（会計責任）概念の後退」安藤英義編著『会計における責任概念の歴史—受託責任ないし会計責任—』第Ⅲ部第2章 中央経済社
- 2019年 1月 「受託責任概念と会計責任概念の後退」『企業会計』第71巻第1号
- 2019年 3月 「会計理論と FASB 概念フレームワークの関係—意思決定・有用性アプローチの起源と会計目的論—」『会計学研究』第45号, 専修大学会計学研究所
- 2019年 3月 「会計の政治化とその弊害—ストック・オプションの会計基準を事例として—」古賀智敏編著『会計研究の系譜と発展』第Ⅰ部第4章 千倉書房
- 2019年 5月 「財務報告の目的—経済の金融化現象と英米の対立—」岩崎勇編著『IASB の概念フレームワーク』第4章 税務経理協会
- 2019年 7月 「FASB 概念フレームワークに関するコメント・レターの分析（1）—概念フレームワークの討議資料（1974年）を中心にして—」『専修商学論集』第109号
- 2020年 1月 「FASB 概念フレームワークに関するコメント・レターの分析（2）—概念フレームワークの討議資料（1974年）を中心にして—」『専修商学論集』第110号
- 2020年 7月 「FASB 概念フレームワークに関する公聴会の分析—概念フレームワークの討議資料（1974年）を中心にして—」『専修商学論集』第111号
- 2020年10月 「会計目的の起源とそのモデル化」河崎照行編著 [2020]『会計研究の挑戦—理論と制度における「知」の融合—』第2部第7章 中央経済社
- 2021年 1月 「FASB 概念・プロジェクトの変容—1970年代から1980年までを中心にして—」『専修商学論集』第112号
- 2021年 3月 「Robert M. Trueblood の会計思想」『会計学研究』第47号 専修大学会計学研究所
- 2021年 8月 「FASB 概念フレームワーク第1号と第2号の再調査」『會計』第200巻第2号
- 2021年 7月 「経済の金融化と新概念フレームワーク（2010年）の関係」『専修商学論集』第113号
- 2022年 1月 「会計目的・質的特性と測定・開示の関係」『専修商学論集』第114号, 29-44頁
- 2022年 3月 「IASB/FASB 概念フレームワーク（2010年）の設定過程の分析—内部ロビング, メンバーの人事異動および二重規制システムに関係づけて—」『会計学研究』第48号 専修大学会計学研究所
- 2022年 7月 「貯蓄貸付組合の危機と FASB・SFAS 第115号の設定過程の分析—利害関係者の攻防と内部ロビングに関係づけて—」『産業経理』第82巻第2号
- 2022年 7月 「SFAS 第157号と金融サービス産業の関係—公正価値の測定を中心として—」『専修商学論集』第115号
- 2022年12月 「統合報告と SDGs の関係の在り方」『日本知的資産経営学会誌』第8号
- 2023年 1月 「サブプライム金融危機と会計基準の設定過程の関係—FASB スタッフ意見書第157-4号を中心にして—」『専修商学論集』第116号
- 2023年 3月 「スチュワードシップ情報の現代的な役割について」『会計学研究』第49号 専修大学会計学研究所
- 2023年 7月 「FASB/IASB における収益認識の会計基準の設定過程—2005年までを中心にして—」『専修商学論集』第117号

- 2023年9月 「FASB/IASBにおける収益認識の会計基準の設定過程の分析—2002年から討議資料（2008年）まで—」 会計理論学会スタディグループ・岩崎勇編著『収益認識についての総合的研究—最終報告書—』 会計理論学会
- 2024年1月 「収益認識の会計基準の設定過程—AAA/FASB 会議（2007年）から FASB/IASB 公開草案（2010年）までを中心として—」『専修商学論集』第118号

[学会発表]

- 1994年7月 「自己株式の諸相」 日本会計研究学会第54回九州部会（九州産業大学）
- 1995年9月 「米国における現代自己株式会計論」 日本会計研究学会第54回全国大会（広島修道大学）
- 1996年9月 「デリバティブと自己株式—自己株式を対象としたプット・オプション（売付選択権）の会計問題—」 日本会計研究学会第55回全国大会（早稲田大学）
- 1998年9月 「デリバティブと資本会計」 日本会計研究学会第57回全国大会（明治学院大学）
- 1999年9月 「ストック・オプションの会計基準—会計制度概念と FASB 概念フレームワークに関連させて—」 日本会計研究学会第58回全国大会（京都学園大学）
- 2001年9月 「負債と資本との区分の会計問題」 日本会計研究学会第60回全国大会（大阪学院大学）
- 2004年9月 「会計利益計算の構造と論理に関する総合研究」（上野清貴主査：共同） 日本会計研究学会第75回全国大会（スタディ・グループ中間報告：静岡地区）
- 2005年9月 「会計利益計算の構造と論理に関する総合研究」（上野清貴主査：共同） 日本会計研究学会第76回全国大会（スタディ・グループ最終報告：広島大学）
- 2009年10月 「経済社会の変容と時価会計」 会計理論学会第24回全国大会（統一論題報告：拓殖大学）
- 2011年9月 「IFRS 時代における受託責任目的の普遍妥当性」 会計理論学会第26回全国大会（統一論題報告：北海道大学）
- 2012年8月 「二重の受託責任概念（目的）について」 日本会計研究学会第71回全国大会（一橋大学）
- 2013年8月 「会計概念フレームワークと簿記」（岩崎勇部会長：共同） 日本簿記学会第29回全国大会（簿記理論研究部会中間報告：立教大学）
- 2014年8月 「会計概念フレームワークと簿記」（岩崎勇部会長：共同） 日本簿記学会第30回全国大会（簿記理論研究部会最終報告：神戸大学）
- 2015年3月 「グローバル・ガバナンス時代における IR 情報と会計情報の総合的な研究」（梶田龍三座長：共同） 日本インベスター・リレーション学会第13回全国大会（スタディ・グループ最終報告：一橋大学）
- 2015年10月 「IFRS の概念フレームワークについて」（岩崎勇主査：共同） 国際会計研究学会第32回全国大会（研究グループ中間報告：専修大学）
- 2015年10月 「英米における受託責任（会計責任）概念の歴史と諸相」 安藤英義主査「受託責任（会計責任）概念の歴史」 日本会計史学会第34回全国大会（寄付スタディ・グループ中間報告：大阪経済大学）
- 2016年8月 「IFRS の概念フレームワークについて」（岩崎勇主査：共同） 国際会計研究学会第33回全国大会（研究グループ最終報告：関西学院大学）
- 2016年9月 「英米における受託責任（会計責任）概念の系譜」 安藤英義主査「受託責任（会計責任）概念の歴史」 日本会計史学会第35回全国大会（寄付スタディ・グループ最終報告：北海学園大

学)

- 2018年10月 「FASB 及び IASB の概念フレームワークについての歴史的考察」(岩崎勇主査：共同) 日本
会計史学会第37回全国大会 (スタディ・グループ中間報告：日本大学)
- 2019年10月 「FASB 及び IASB の概念フレームワークについての歴史的考察」(岩崎勇主査：共同) 日本
会計史学会第38回全国大会 (スタディ・グループ最終報告：九州大学)
- 2023年 9月 「収益認識についての総合的研究」(岩崎勇代表：共同) 会計理論学会第38回全国大会 (スタ
ディ・グループ最終報告：大東文化大学)

[書 評]

- 2004年 7月 「野口晃弘『条件付新株発行の会計』『産業経理』第64巻第 2号
- 2012年 1月 「引地夏奈子著『ストック・オプションの会計問題』『産業経理』第74巻第 4号
- 2015年 7月 「上野清貴編著『会計学説の系譜と理論構築』『産業経理』第75巻第 2号
- 2018年 1月 「上野清貴著『会計理論研究の方法と基本思考』『産業経理』第77巻第 4号
- 2019年 4月 「古庄修編著『国際統合報告論—市場の変化・制度の形成・企業の対応—』『産業経理』第
79巻第 1号
- 2019年10月 「河崎照行編著『会計制度のパラダイムシフト—経済社会の変化が与える影響』『産業経理』
第79巻第 3号
- 2019年11月 「上野清貴著『会計の科学と論理』『会計・監査ジャーナル』第31巻第11号

[辞 典]

- 2002年 4月 「複合金融商品会計」金融事典編集委員会編『大月金融事典』大月書店
- 2002年 4月 「デリバティブ会計」金融事典編集委員会編『大月金融事典』大月書店
- 2002年 4月 「オフバランス取引」金融事典編集委員会編『大月金融事典』大月書店
- 2007年 8月 「劣後債」神戸大学会計学研究室編『会計学事典 (第六版)』同文館出版
- 2007年 8月 「社債」神戸大学会計学研究室編『会計学事典 (第六版)』同文館出版